

# お金を借りる

## ①「クレジット」について





## カードだけで買い物が？





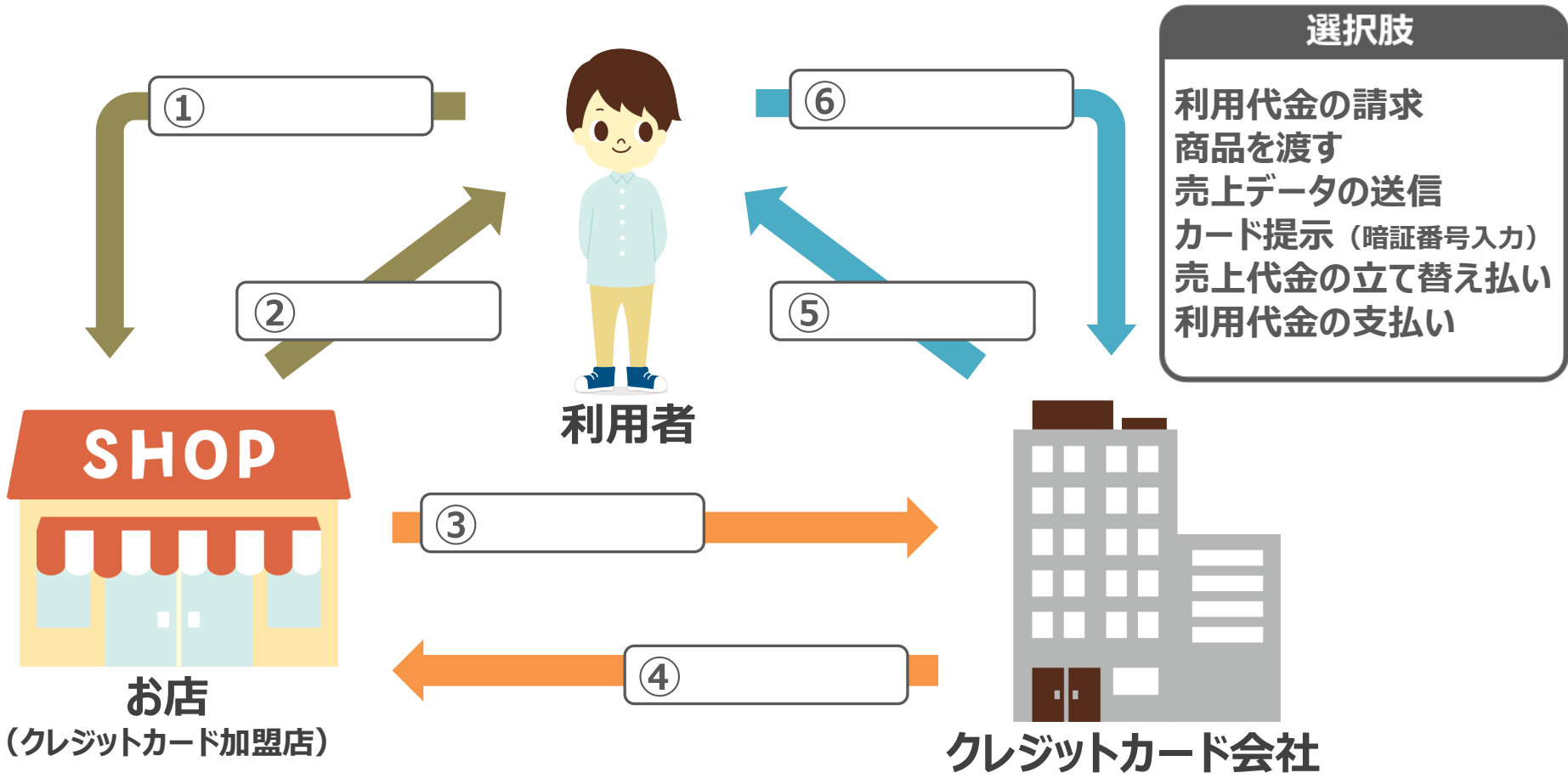


## カードだけで買い物が？





**ワーク** 「クレジットカード」を使った買い物の「お金の流れ」を考えます。  
 選択肢から言葉を選んで、図を完成させましょう。  
 \* 数字の順に考えてみましょう。

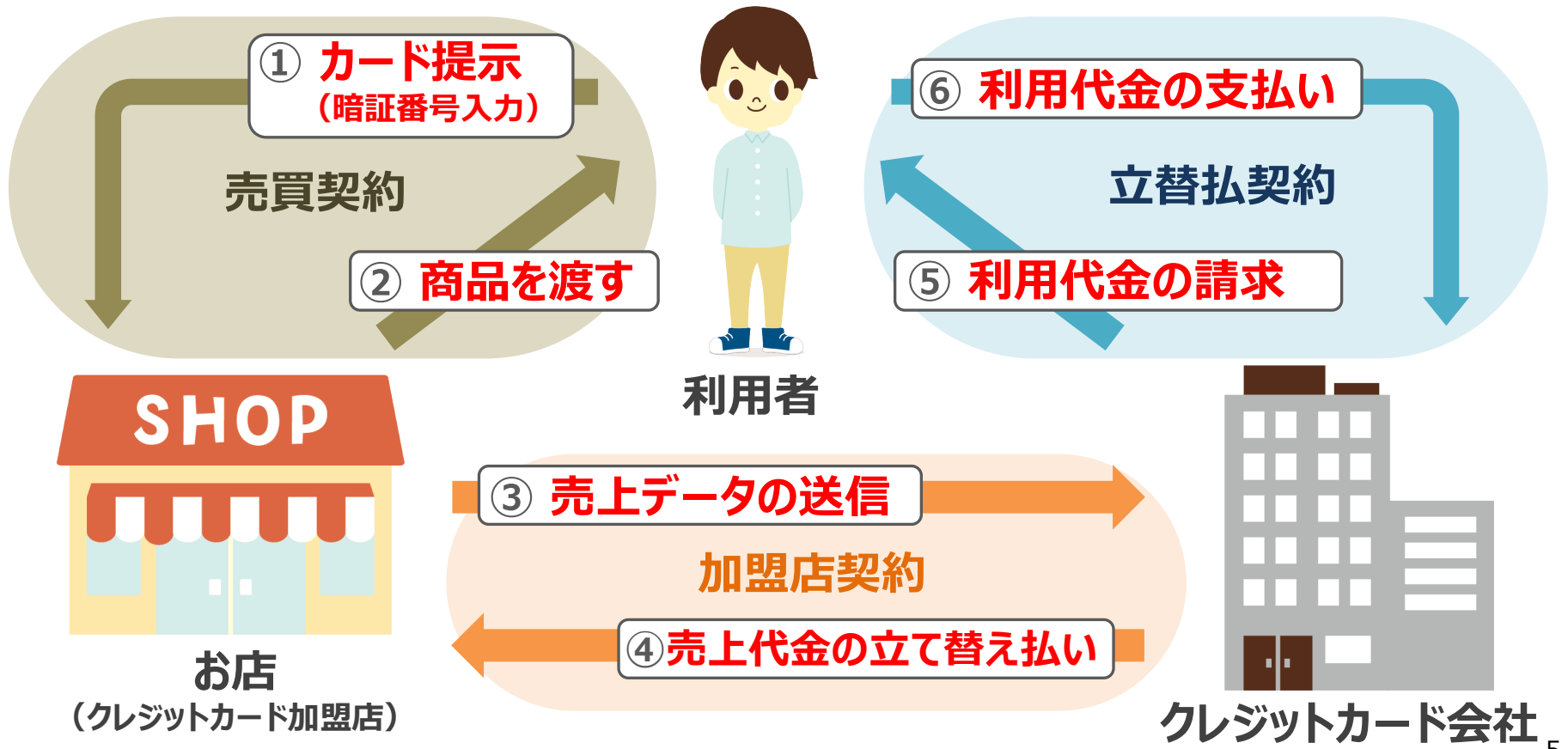




# 「クレジットカード」は「三者間契約」

利用者の買い物代金を、クレジットカード会社が立て替えてお店に払い、後から利用者がクレジットカード会社に代金を支払います。

クレジットは「利用者」「お店」「クレジットカード会社」の三者間契約です。





## 「クレジットカード」でできること

「クレジットカード」とは、買い物などの代金を**後払い**にできるカードのことです。他にも便利な点があります。

- ①通販などでの支払いが簡単
- ②現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ③分割払い・リボ払いにすることもできる





## 支払い方法の種類

クレジットカードの利用代金の支払い方法は、**一括払い・分割払い・リボ払い(リボルビング払い)**などがあり、買い物時に選ぶことができます。分割払い・リボ払い(リボルビング払い)にすると、**手数料**がかかります。

一括払い	分割払い・リボ払い(リボルビング払い)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 利用代金を、翌月あるいは翌々月に一回で支払う方法</li><li>● 手数料がかからないので、利用代金と同額を翌月あるいは翌々月に支払う</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 利用代金を指定する回数に分けて支払う方法</li><li>● 支払回数が多いほど、一度に支払う金額を減らすことができる</li><li>● ただし、支払回数が多いほど、手数料がかかる</li></ul>

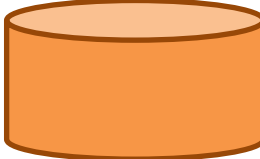





# 支払い方法による支払い総額の違い（分割払い）

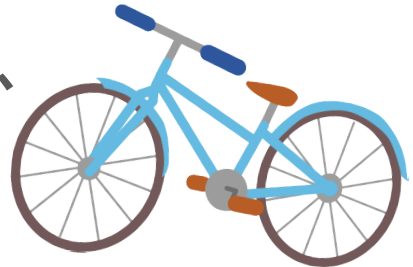


10万円の商品をクレジットカードで購入する場合

支払い回数	一括払い 	5回払い 	12回払い 
月々の支払い額	100,000円	20,757円	9,026円
うち手数料の総額	0円	3,785円	8,312円
支払総額	<b>100,000円</b>	<b>103,785円</b>	<b>108,312円</b>

\* 手数料15%の場合。元利均等方式で計算。

分割回数が多いほど、手数料が多くなるので、  
支払い総額も多くなります。







## 手数料について（分割払い）

分割払いで支払う手数料の金額は、一般的に実質年率に加え、「**利用代金100円当たりの手数料の額(円)**」が表示されており、それを使うと簡単に計算できます。

### 計算方法

$$\text{購入代金} \times \text{100円当たりの分割払い手数料の額(円)} \div \text{100(円)} = \text{支払う手数料の金額}$$

支払い回数に対する分割払い手数料は、クレジットカード会社がそれぞれに定めています。

### クレジットカード会社が定める支払回数と手数料率 例

支払回数	3回	6回	12回	24回
支払い期間	3か月	6か月	12か月	24か月
実質年率	10.5%	11.0%	11.5%	12.5%
利用代金100円当たりの 分割払い手数料の額	1.76円	3.23円	6.34円	13.54円

支払い回数が増えると分割払い手数料の額も増えるため、**支払い総額も多くなります。**

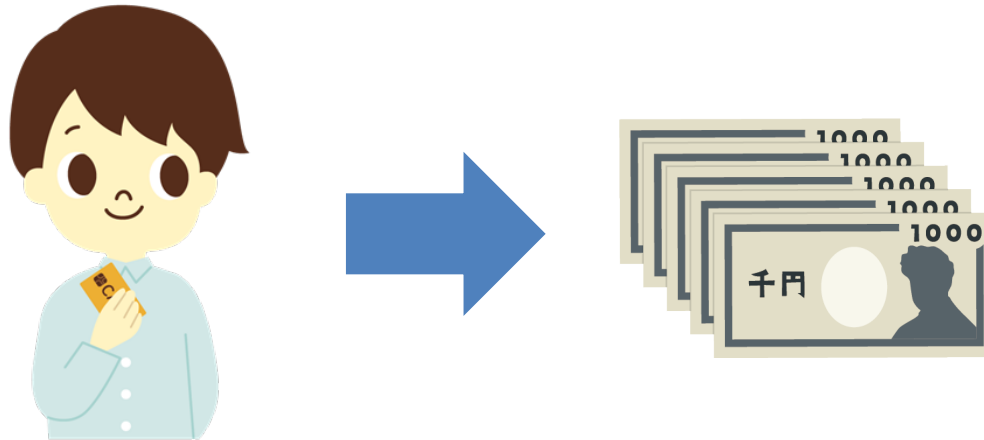
※リボ払いの場合でも、毎月の利用残高等に応じて手数料がかかります。



## 「クレジットカード」の利用は「借金」と同じです

クレジットカードでの買い物は、利用者がクレジットカード会社から**お金を借りる**のと同じことです。

欲しいものを手に入れたら、**後で必ずお金を支払う(返す)**ことを忘れてはいけません。



## クレジットカードやローンの利用状況は記録されています

ローンやクレジットカードを利用する際、銀行やクレジットカード会社などは申込者の信用状況を「個人情報情報機関」の記録などで確認します。

「個人情報情報機関」には、自社だけでなく、他社の借入情報や返済が滞った履歴がないかも記録されています。多額の貸出を防いだり、利用者が多重債務に陥ったりしないように保護するためにも、なくてはならない仕組みなのです。



## 「クレジットカード」の注意点

「クレジットカード」の注意点を理解して、かしこく使えるようにしましょう。

- ① 使いすぎる（借りすぎる）心配がある
- ② 分割払い・リボ払いは手数料がかかる
- ③ 悪用される危険がある



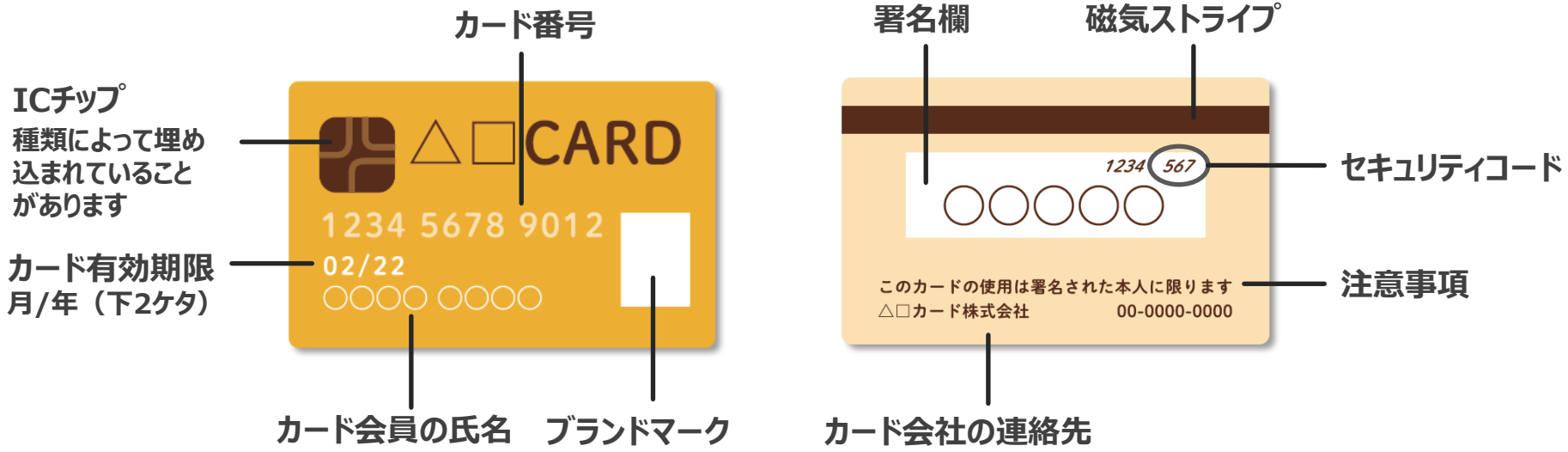
- **クレジットカードは、代金を後払いにできるカード。**
- **支払い方法には、一括払い・分割払い・リボ払いがある。**
- **分割払い・リボ払いは、手数料がかかる。**
- **クレジットカードの良い点・注意点を理解して、かしこく使えるようにしよう。**





# クレジットカードの仕様（例）

クレジットカードを手にしたら、裏面にサインをする必要があります。サインはそのカードの利用者が誰であることを示すとともに、カードを使用するときに必要なもので、裏面にサインをしていないカードは使用できません。



※最近では、カード番号・有効期限などのカード情報や署名欄のないクレジットカードが出てきています。



## リボルビング払い（リボ払い）の仕組み

**リボルビング**は「**回転**」という意味です。

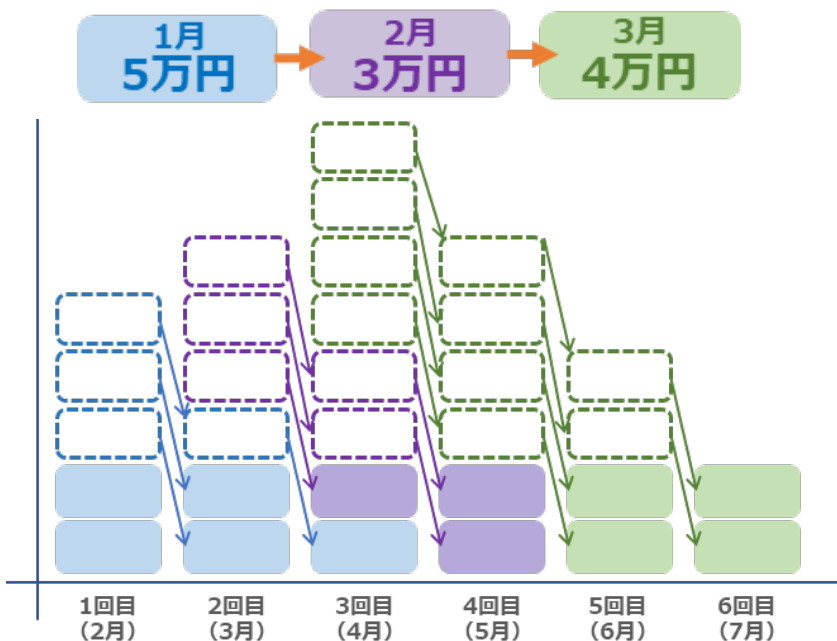
リボルビング払い（リボ払い）は、毎月の支払い額を決めて、利用残高がなくなるまで支払いを続ける方法です。

※いろいろなタイプがありますが、ここでは基本的な考え方を説明しています。

### 定額方式の場合

3ヶ月にわたってクレジットカード（リボルビング払い）で買い物をした場合

※毎月の支払い額は2万円。支払い日は翌月



### 【月々の返済は楽になっても】

例えば「月1万円」の枠を設定すれば、「10万円の品物を買っても、月に1万円支払えばOK」です。

しかし、注意しなければいけないことは、返していないお金には手数料（「お金のレンタル料」である金利）がかかり続けます。必ず手数料を上乗せしてお金を返さなければなりません。

リボ払いの手数料は高めに設定されていることが一般的で、年率で15%に及ぶこともあります。



## クレジットカード返済シミュレーション

◆クレジットカードを活用した、買い物のシミュレーションをしてみよう！

買いたい物の金額（A:購入金額）と、何回でお金を返すか（B:返済回数）、手数料の割合（C:手数料率）という3つの条件を入力して、一括払いとの差額を計算してみよう。

A	購入金額（借入金額）	100,000	円	条件を入力
B	返済回数	12	回	条件を入力
C	手数料率	15%	%	条件を入力
D	毎月返済額	9,026	円	このコマは触らないでください ¥9,026
E	支払総額	108,312	円	(D × 返済回数)
F	一括支払いとの差額	8,312	円	(E-A)

※元利均等法式で支払うこととします。


※ボーナス払いはないものとします。


※1円未満の金額の扱いや、算出方法の違いなどによって、実際の金額とは異なる場合があります。




## クレジットカード返済シミュレーション

「シミュレーションツール」を使って、計算してみよう。  
 「返済回数」と「手数料率」が、「一括払いとの差額」に関係してきます。

 オレンジ色のコマのところに数値を入力してください。

 緑色のコマのところはオレンジ色のコマをすべて入力すると自動で入力されます。数値や文字を入力したり、関数を消去したりしないでください。

 青色のコマは計算用です。数値や文字を入力、関数を消去しないでください。

A	購入金額（借入金額）	0	円	条件を入力
B	返済回数	1	回	条件を入力
C	手数料率	0%	%	条件を入力
D	毎月返済額	0	円	このコマは触らないでください ￥0
E	支払総額	0	円	(D × 返済回数)
F	一括支払いとの差額	0	円	(E - A)

※元利均等法式で支払うこととします。

※ボーナス払いはないものとします。

※1円未満の金額の扱いや、算出方法の違いなどによって、実際の金額とは異なる場合があります。